

## 第二次霧島市総合計画(前期基本計画)総括シート

政策体系	政策No.	5	政策名	きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)	施策幹事課					
	施策No.	4	施策名	市の魅力と価値を高める多角的施策の展開	企画政策課					
計画期間(2018年度～2022年度)における施策の方針 (総合計画書から引用)					関係課					
<p>多様化・高度化する市民ニーズに対して効率的かつ効果的なサービスを提供するため、市民をはじめ産官学等が一体となった課題解決や、行政界を越えた地域間による広域連携を推進します。</p> <p>また、霧島ジオパークを構成する地域の持続可能な発展を目指し、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた活動を推進するとともに、市民参加型の情報発信の強化など、市民と一体となったまちづくりと魅力の発信に取り組みます。</p>					地域政策課、観光PR課、霧島ジオパーク推進課					
施策の方針に対する達成状況(2018～2022)					後期計画における課題					
<p>■霧島ジオパークを構成する地域の持続可能な発展を目指すため、2022年3月に湧水町が協議会へ加入した。</p> <p>■世界ジオパーク認定に向け、桜島・錦江湾と霧島の両ジオパークの統合に向けた協議を継続的に行った。</p> <p>■環霧島会議や錦江湾奥会議(以下、環霧・湾奥会議)の構成市町が抱える課題や広域的な問題等を国・県等へ要望し、各地域の魅力を発信する事業等を実施した。</p> <p>■企業や教育機関等との連携協定を推進し、行政情報の周知や各種講座の開催など、営業網や人材など企業等の強みを活用した具体的な取組を推進した。</p> <p>■「褒め合うまち」をコンセプトとしたキシマイスター活動を推進し、小中学校ではキシマイスターモデル校を中心に褒め合う活動が定着した。</p>					<p>■世界ジオパーク認定に向け、桜島・錦江湾と霧島の両ジオパークを統合したエリアでの活動を進める必要がある。</p> <p>■環霧・湾奥会議の構成市町と連携して、広域的な課題の解決や効果的な連携事業を推進する必要がある。</p> <p>■包括連携により取り組んでいる事業の更なる展開を進める必要がある。</p> <p>■一般市民に対し、キシマイスター活動の更なる普及啓発・定着を図る必要がある。</p> <p>■市の魅力を市民が認識し、SNS等を通じて自発的に情報発信していく活動を推進する必要がある。</p>					
成果指標 (意図の達成度を表す指標)		◎目標達成(100%以上)    △目標を未達成(100%未満)								
		単位	目標達成の方向性	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	達成率 結果
A	環霧島会議、霧島ジオパーク推進連絡協議会、錦江湾奥会議等広域的な取組の認知度	%	更なる増加を目指します	目標値	58.0	59.0	60.0	61.0	62.0	104.0%
				実績値	-	-	-	-	64.2	◎
B	霧島市が住みやすいと感じる市民の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	78.0	79.0	80.0	81.0	82.0	99.0%
				実績値	-	-	-	-	80.9	△
C	霧島市に住み続けたいと感じる市民の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	79.0	80.0	81.0	82.0	83.0	99.0%
				実績値	-	-	-	-	82.2	△
D	広域連携により取り組んだ事業数	件	更なる増加を目指します	目標値	9	9	9	9	9	44.0%
				実績値	8	8	3	3	4	△
E	産官学連携により取り組んだ件数	件	更なる増加を目指します	目標値	8	9	10	11	12	233.0%
				実績値	9	10	11	25	28	◎
基本事業	5年間の取組内容			5年間の取組成果			後期計画における課題			
①ジオパーク活動の推進	<p>■2018年度に2回目の日本ジオパーク再認定申請を行った。</p> <p>■霧島ジオパークのエリア拡大推進のため、民間とプロジェクトチームを結成した。</p> <p>■桜島・錦江湾ジオパークとのエリア統合に関する協議を継続的に実施した。</p> <p>■2022年度に日本ジオパーク新規(エリア拡大)認定申請を行った。</p>			<p>■2回目の日本ジオパーク再認定。</p> <p>■3つのプロジェクトチーム(10周年記念事業・エリア拡大・ガイド養成)の事業が実施できた。</p> <p>■両ジオパーク(桜島・錦江湾、霧島)が統合に向けエリア拡大を行うこととなった。</p> <p>■日本ジオパーク新規(エリア拡大)認定。</p>			<p>■世界ジオパーク認定に向け、桜島・錦江湾と霧島の両ジオパークを統合したエリアでの活動を進める必要がある。</p> <p>■日本ジオパークネットワークの一員として、国内外のジオパーク地域と積極的な交流を進めながら、霧島ジオパークの特徴を活かした貢献を行う必要がある。</p>			
②広域行政の推進	<p>■環霧・湾奥会議の構成市町が抱える課題や広域的な問題等を国・県等へ要望し、各地域の魅力を発信する事業等を実施した。</p> <p>■湧水町へ霧島ジオパーク推進連絡協議会への加入について協議を行った。</p> <p>■環霧島会議と霧島ジオパーク推進連絡協議会の統合に向けた協議を行った。</p>			<p>■環霧・湾奥会議で、霧島山の火山活動被害、浄化槽整備、県道103号線の道路整備等を要望し、一部で検討が始まるなど一定の成果があった。共同による誘客や観光PRなど広域的な観光素材の活用や魅力の発信が推進された。</p> <p>■2022年3月1日付で湧水町が霧島ジオパーク推進連絡協議会に加入した。</p> <p>■環霧島会議を霧島ジオパーク推進連絡協議会へ統合する方針等を決定した。</p>			<p>■行政区域を超えた共通課題に対応するため、環霧・湾奥会議の構成市町と連携して、広域的な課題の解決や効果的な連携事業を推進する必要がある。</p> <p>■環霧島会議と霧島ジオパーク推進連絡協議会の統合について協議する必要がある。</p>			
③産官学との連携の推進	<p>■企業や教育機関等との連携協定を推進し、5年間で11件の包括連携協定を、26分野の個別協定を締結した。</p> <p>■包括連携協定に基づく具体的な取組は、2018年度の目標8件から28件に大幅に増加した。</p>			<p>■様々な行政情報の周知や、各種講座、新型コロナウイルスワクチン集団接種の運営支援など、営業網や人材など企業等が持つ強みを活用した具体的な取組を推進することができた。</p>			<p>■現在連携して取り組んでいる事業の更なる展開を進める必要がある。</p> <p>■民間の強みを行政サービスに生かせるような分野での新たな連携に向けて、調査、研究を進める必要がある。</p>			
④シティプロモーションの推進	<p>■「褒め合うまち」をコンセプトとするキシマイスター活動を推進した。</p> <p>■本市の認知度向上、魅力発信を目的としたメディアセールスを展開した。</p> <p>■市内の情報共有や連携を図るためシティセールスミーティングを設置した。</p>			<p>■小中学校では、キシマイスターモデル校を中心に褒め合う活動が定着した。</p> <p>■取組がメディアや雑誌等で取り上げられ、本市の知名度向上、魅力発信に関しては一定の効果が得られた。</p> <p>■定期的な情報共有等が図られた。</p>			<p>■一般市民に対し、キシマイスター活動の更なる普及・啓発・定着を図る必要がある。</p> <p>■市の魅力を市民がSNS等を通じて市民が情報発信していく活動を推進する必要がある。</p> <p>■シティセールスミーティングをはじめとした市内での情報共有を図り、効果的なPRを推進する必要がある。</p>			